



※過去の記事は飯野小 HP に掲載しています。

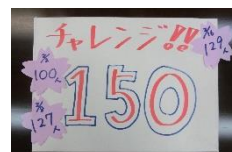
チャレンジ 150



毎年4月、入学したばかりの1年生の子に「校長先生は、どんな仕事をしているの?」と聞かれることがあります。そんなときは、「校長先生は、飯野小のみんなが、もっと幸せになるように考える仕事をしているんだよ」と話します。「ふ～ん、校長先生は考えるのが仕事なんだね」と言う子もいます。そうなんです。校長先生は考えるばかりです。でも、校長先生一人で考えるよりも、飯野小の先生たちと一緒に考えるほうが、もっといい考えが生まれます。

考えたことを校長先生だけではできません。いつも先生たちの行動力に助けられています。今、飯野小の児童数は約210名です。先生たちの人数は、週に一度来る先生を含めて約30名です。つまり、飯野小の児童数は、先生たちの人数のおよそ7倍です。子どもの人数のほうが多いので、先生たちだけではどうしてもできないところがあります。そこを助けていただいているのが、今日、お越しいただいている学校ボランティアのみなさんです。飯野小には本当に多くの学校ボランティアの方がいます。今日は、ご都合のついた方に来ていただきました。ボランティアのみなさん、本日は早朝よりお越しいただき、ありがとうございます。そして、いつも飯野小の子どもたちを温かく見守っていただきありがとうございます。

さて、飯野小は今年の7月で150周年になります。記念の年だから『150』という数字にこだわってみたいです。ときどき、このプレートを柱に掲げて、朝、昇降口に立っています。そして、校長先生より「**先にあいさつ**」ができた子の人数を数えています。ある本の中で、次の文を読みました。



言われてからするあいさつは、あいさつと言うより返事です。

相手よりも先にするのが、本当のあいさつです。

返事ができないよりできたほうがいい。でも、本当のあいさつができるのはもっといい。なぜなら、本当のあいさつができる人は、本当に幸せな人になるからです。

飯野小のみなさんには、**もっともっと幸せ**になってほしいです。だから、一人でも多くの子に、「**先にあいさつ**」ができる子になってほしいです。飯野小には、みなさんを応援してくれている多くの学校ボランティアさんがいます。学校の内でも学校の外でも、どこで会っても、いつも「**先にあいさつ**」ができる、そんな飯野小のみなさんでいてください。

(3. 4「感謝の会」より)